

琵琶湖疏水記念館

LAKE BIWA CANAL MUSEUM OF KYOTO



京都市水道局

KYOTO CITY WATERWORKS BUREAU
JAPAN

ようこそ 琵琶湖疏水記念館へ

この記念館は、琵琶湖疏水竣工100周年を記念して、疏水の意義を1人でも多くの人に伝え、先人の偉業を顕彰するとともに、将来に向かって発展する京都の活力の源となることを願って、市民の協力のもとに建設しました。

琵琶湖疏水のご紹介

京都にとって、琵琶湖の水を引くことは昔からの夢でした。第3代京都府知事となった北垣国道は、明治維新による東京遷都のため沈みきった京都に活力を呼び戻すため、琵琶湖疏水の建設を取り上げました。疏水の水力で新しい工場を興し、舟で物資の行き来を盛んにしようという計画です。

福島県の安積疏水の主任技師南一郎平に琵琶湖疏水計画の調査を依頼し、大津京都間の測量を島田道生に命じ、東京の工部大学校を卒業したばかりの田邊朔郎を土木技師に採用するなどの準備を進めました。

予算の原案は当時のお金で60万円でしたが、もっと念入りな工事をしようとの政府の意見で、125万円になりました。議会は市民に税金を掛けてでも計画を進めると決定し、明治

18(1885)年に着工しました。

第1トンネルは長さが2,436メートルもあり、完成を危ぶむ人が多く難工事でした。わが国初めての堅坑を掘り、れんが、材木も直営で生産し、ほとんど人力だけで工事を進めました。

琵琶湖疏水は着工から5年後の明治23(1890)年に完成しましたが、水力発電を採用したおかげで、新しい工場が生まれ、路面電車も走り出し、京都は活力を取り戻しました。それから20年後、更に豊かな水を求めて第2疏水を建設し、同時に水道と市営電車を開業したことで、今日の京都のまちづくりの基礎ができあがったのです。

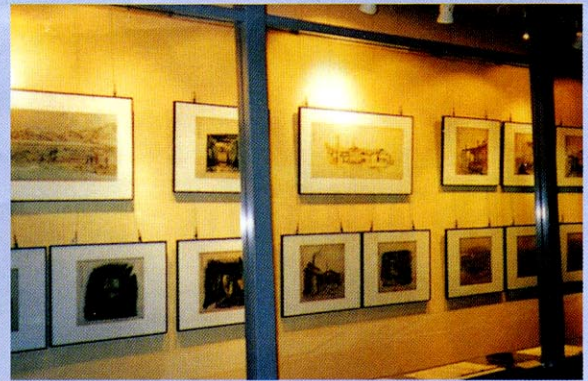
琵琶湖疏水はまさしく京都に命の水をもたらしてくれているのです。

1F

疏水工事の設計図や、田村宗立画伯の描いた疏水工事絵画を中心に、疏水の計画から竣工までを展示しています。また、ビデオでは、明治初期の京都の諸情勢や、疏水工事に関係する人々を紹介します。

通水路目論見実測図

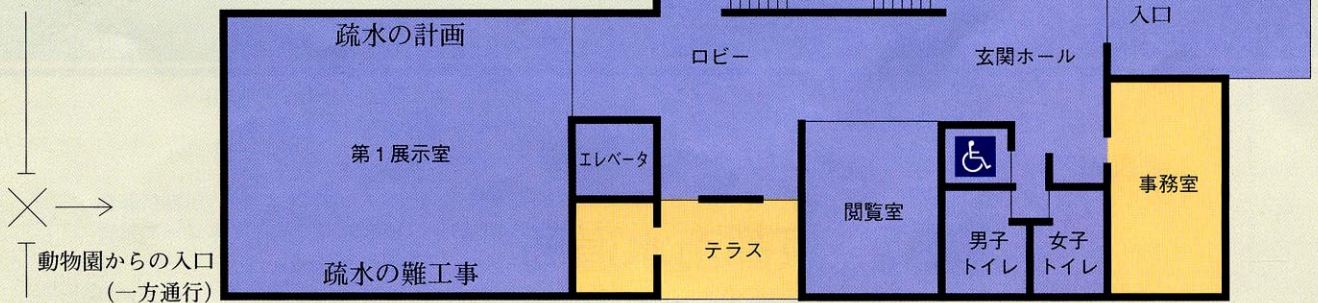
北垣知事が呼び寄せた島田道生が測量し、墨で書き上げた大津京都間の克明な地図です。これを基にして、疏水の線路位置を検討しました。[明治16(1883)年]



第1展示室

壁面ケースの中は、田村宗立画伯が描いた疏水工事の記録です。当時は写真技術が未発達で、暗いところは写真が写せなかったため、トンネルや堅坑の中の様子を描いたこの記録画は、困難な工事をしのばせる貴重な資料です。

一階平面図



BF

疏水ができてからの京都と、京都市三大事業について展示しています。
疏水の水で電気が起こり、いろいろな産業がめばえ、電車も走り出しました。
疏水を利用して舟で物資の行き来も盛んになりました。
近代都市京都への動きが始まったといえます。



インクライン模型

1/50の模型で、疏水ができて舟運が盛んだった当時、荷物を積んだ舟が坂を上下する様子を再現しています。

第3展示室

第2疏水工事や水道事業の始まり、そして市電の開通と幹線道路の開通という京都市三大事業についての資料を展示しています。

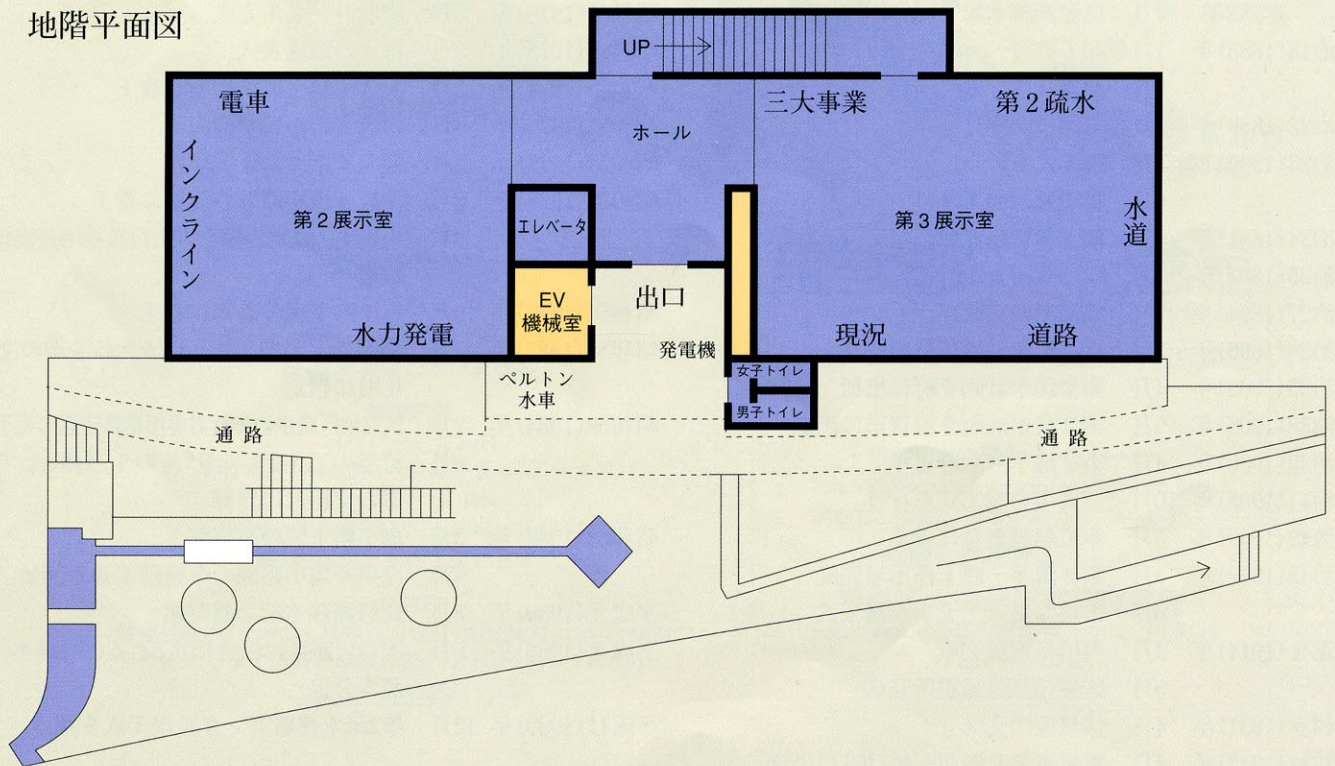


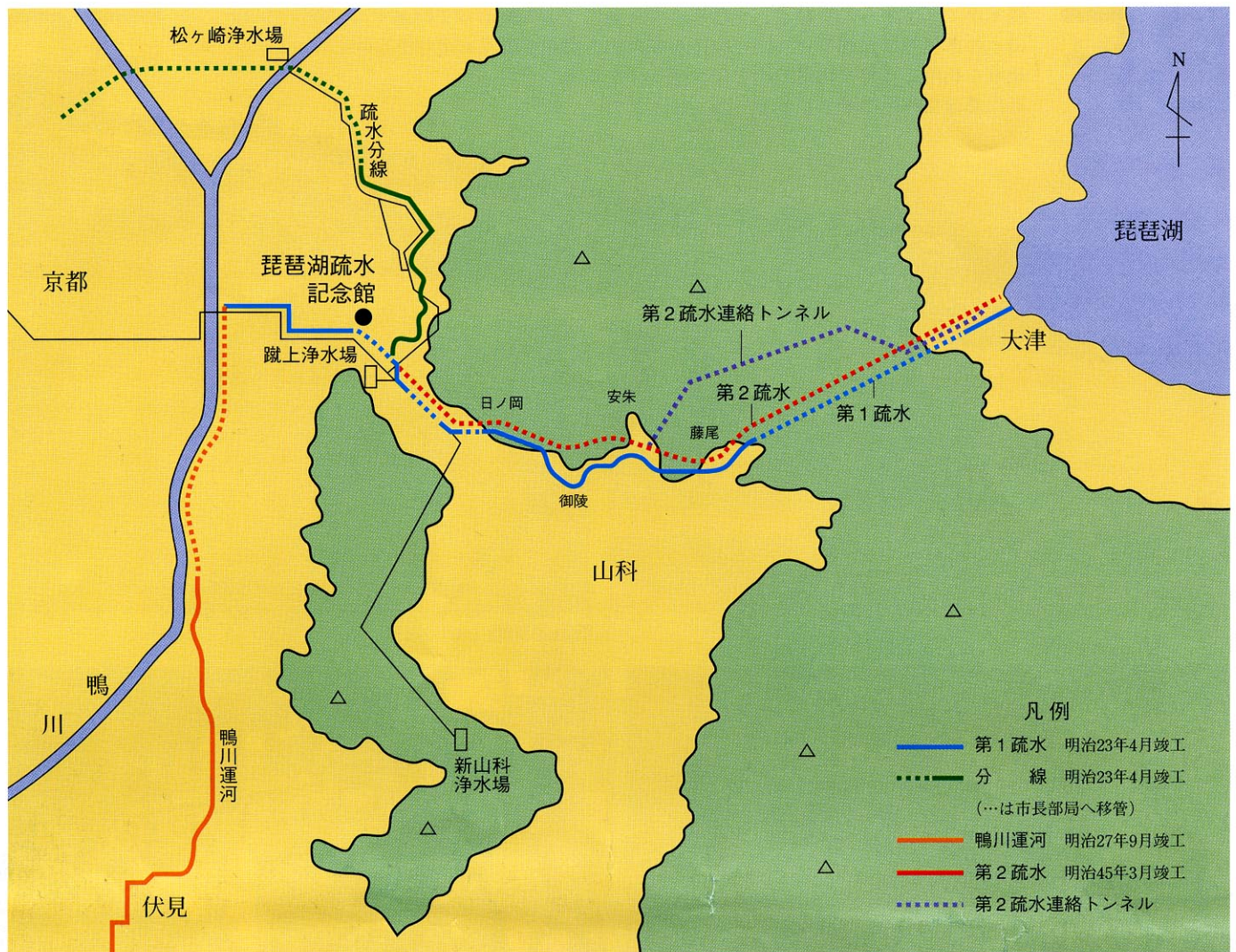
中庭

疏水による日本最初の水力発電所で、ごく初期に運転されたベルトン水車とスタンレー発電機の実物を展示しています。また、中庭からインクラインや、正面に流れる疏水の景観をお楽しみください。



地階平面図





琵琶湖疏水年表

明治14(1881)年	2月	北垣国道京都府知事が着任	昭和26(1951)年	12月	疏水分線鴨川以西を市長部局に移管
明治16(1883)年	2月	大津・京都間の測量を完了	昭和36(1961)年	8月	疏水分線白川道以北を市長部局に移管
	11月	琵琶湖疏水起工伺を国に提出	昭和45(1970)年	5月	諸羽トンネル完成
明治18(1885)年	1月	起工許可	昭和47(1972)年	3月	哲学の道開通式
	6月	起工式を行う。	昭和49(1974)年	5月	大津・蹴上間整備事業竣工
明治22(1889)年	4月	京都市制施行	昭和51(1976)年	4月	六勝寺の小道整備完了
明治23(1890)年	4月	竣工式を行う。	昭和52(1977)年	5月	蹴上インクライン復元
	6月	鴨川運河起工許可	昭和53(1978)年	2月	冷泉～塩小路間の改築に着工
明治24(1891)年	5月	蹴上発電所完成	3月	山科地区疏水沿線を東山自然緑地公園に整備	
明治25(1892)年	11月	鴨川運河着工	昭和54(1979)年	10月	塩小路下流の改修に着工
明治27(1894)年	9月	鴨川運河完成	昭和58(1983)年	7月	南禅寺水路閣と蹴上インクラインを市の文化財に指定
明治28(1895)年	2月	京都電気鉄道伏見線開業	昭和59(1984)年	2月	伏見地区疏水の歩行者専用道路建設に着手
明治35(1902)年	4月	第2疏水計画を府に出願	6月	哲学の道をゲンジボタルの生息地として市の文化財に登録	
明治38(1905)年	9月	第2疏水計画を滋賀県に出願	昭和63(1988)年	3月	塩小路下流の改修完了
明治39(1906)年	4月	第2疏水計画許可	4月	冷泉～塩小路間の改築疏水通水開始	
明治41(1908)年	10月	三大事業起工式を行う。	平成元(1989)年	8月	琵琶湖疏水記念館開館
明治42(1909)年	5月	水道創設事業に着手	平成8(1996)年	6月	国の史跡に12箇所指定される(第1疏水・疏水分線)。
明治45(1912)年	3月	第2疏水・蹴上浄水場完成	平成11(1999)年	12月	第2疏水連絡トンネル竣工式を行う。
	6月	市電開業・三大事業竣工式			
大正3(1914)年	3月	夷川発電所完成			
	5月	伏見(墨染)発電所完成			
昭和6(1931)年	4月	伏見閘門完成			
昭和17(1942)年	4月	電気事業を関西配電(株)に出資			

琵琶湖疏水記念館周辺散策マップ

哲学の道

疏水分線

平安神宮



京都府会館

市バス
法勝寺町

永観堂

●みやこめっせ

●京都市動物園

●府立図書館

●京都市美術館

●国立近代美術館



●無鄰菴

●交番

●国際交流会館

琵琶湖疏水記念館



南禅寺



蹴上
発電所

ネジリまんぼ

水路閣

三条京阪へ

東山

地下鉄東西線

ウェスティン都ホテル京都

蹴上

田邊朔郎
博士像



蹴上浄水場

疏水工事
殉職者弔魂碑

第2疏水

醍醐・浜大津へ

合流点

第1疏水

交通のご案内

市営地下鉄東西線「蹴上」下車 徒歩5分
市バス5系統「法勝寺町」下車 徒歩5分

● 駐車場はございません。

開館時間

3月1日～11月30日

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

12月1日～2月末日

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

● 動物園からも入館できます。

休館日

毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館します。)及び年末年始(12月28日～1月3日)

入館は **無料** です

琵琶湖疏水記念館

LAKE BIWA CANAL MUSEUM OF KYOTO

〒606-8437 京都市左京区南禅寺草川町17

TEL:075-752-2530

FAX:075-752-2532

京都市水道局のホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/suido/main.htm>

でも、当館の情報を紹介しています。

～水は自然のまわりもの～

京都市水道局総務部庶務課

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12

TEL:075-672-7707

FAX:075-682-2711